



楽々亭通信

第 35 号
令和5年9月1日号

発行：NPO法人没イチの会・京都

8月の楽々亭は 休会といたしました

本願寺派布教使

安堂芳雅

■奥さんの写真

中まで入ってみなくても、玄關をみれば家の様子がわかると言います。同じように、お仏壇にはお家の方々の心のありようそのままがあらわれます。

毎年、お盆だけお参りによせていただくお家が何件かあります。

田中さん（仮名）宅もその中の一件で、最初のご依頼は奥さまの初盆の読経でした。

こちらのお仏壇は、磨き上げられた仏具がどれもピタッと正面にくるよ



うに置かれ、塵埃ひとつありません。ご主人が、毎朝晩、丁寧にお掃除し、大事にしておられるお仏壇だと一目でわかります。

「それでは、お盆のお参りをさせていただきます」とまず一礼。ああ、やっぱり・・・今年もまた、ご本尊の真ん前に顔をくしゃくしゃにして笑っておられる奥さまの写真が置いてあります。

毎年、「お仏壇は阿弥陀さまをご安置する場所ですから、写真は入れません」とお話しているのに、まったく伝わってないことばかりです。

ちよつとムツとして、「これではご本尊が隠れてしまいますね」と写真を降ろそうと思いましたが、けれど、私が帰ったらまたすぐに、ご本尊の真ん前に写真を戻されるに違いないと思うと、何ともやりきれない気持ちです。

と、その時、ハツとしました。

私は今まで、「どうして奥さまの写真をそこに置いておられるのですか？」と一度も聞いたことがありません。

ただ、「浄土真宗では」、「西本願寺では」、「と一方的に宗派のお仏壇の飾り方について話していました。

しかし、そんなものは、「浄土真宗仏壇のお飾りについて」とインターネットで検索すれば、すぐに写真付き説明付きの答えが返ってきます。

私は目の前のお仏壇の飾り方である、「事柄」にだけ向き合って、何より大切な目の前にいる田中さんの「気持ち」に、まったく寄り添っていませんでした。

どうして、お寺さんにお経を読んでほしいと思われたのか。

朝晩、このお仏壇の前でどのような気持ちで奥さまに接しておられるのか。

もつとすすめて言えば、お写真とご本尊、田中さんにとって、ご本尊の阿弥陀さまと奥さまはどんな関係にあるのか。私が聴かなければならない「田中さんの思い」はいっぱいあったのです。

■まずは、「事柄」ではなく「気持ち」に寄り添うこと。

そこで、いつものように、「お写真は入れません」と、お仏壇から降ろすことは控え、今年は「奥さまも一緒に、お経さまをいただきますように」と言って、写真を横にずらして、お勤めをしました。

お勤めが終わると冷たい麦茶を持ってきてくださった田中さんは、嬉しそうに写真の奥さまの話をされました。あんまり嬉しそうなので、「今でもラブラブです」と茶化すと、「ほら見て下さい、いつも笑ってるでしょう、喧嘩にもなりません」とまたのろけられ二人で笑い合いました。何年も寄せていただいています、あんなに楽しい時間は初めてでした。

田中さんがお仏壇の正面に奥さんの写真をおか

れていた、その奥には「大好きな妻といっしょにいたい」という「気持ち」がありました。写真を置くという「事柄」だけを見ていたわたしは、その気持ちに心を運ぶことができませんでした。が、その「事柄」への捉われをいったん横におき、「まずは田中さんの気持ち」を受け止めようとしたことで、本来の意味で心が通い合う会話ができたのだと思います。

確かに浄土真宗の教義的には、奥さまの写真はお仏壇の中に入れる必要のないものです。が、それを置いておかずにはおれない、凡夫の情にこそ、阿弥陀さまのお慈悲が輝くのです。わかっているけれど、知っているけれど、けれどけれど・・・この気持ちに素直に寄り添い、丁寧に受け止めることを心掛けたいものです。

■では、最後に
みなさんのお家のお仏壇の中に、次のようなものはありませんか。

- ① 他宗の仏像や祖師の像
- ② お守りの札（西国巡礼の札）
- ③ 故人の写真・湯呑
- ④ 位牌

これらは、浄土真宗のお仏壇にはどれも不要です。なぜ、不要なのかをお坊さんに尋ねてみてください。またなぜ、お仏壇に入れておきたいのか？その気持ちもご一緒に考えてみてください。

最後に、「お仏壇は阿弥陀さまをご安置する場所ですから、すっきり美しく整えましょう」とお伝えして失礼します。
が・・・、これがなかなか難しいんです。



スタートしなければ、
ゴールはない。

この狭い日本ですが、各地特徴があります。商売をするのもよく、どここの地は商売がしにくいとか言われますが、私は基本的に関西人ですが、愛知県に永年住んでいたことがあり、その時土地の人に、この人は、”石橋をたたいても渡らない”のだよ、と言われました。そういえば代理店さんを募集しても決まってくるのは西のほうからで、中部地方を超えて、関東ですね。
名古屋地区の方はそれだけ慎重だということだと思いますが、私などは、走り出してから考えるほうなので、愛知県ではよく戸惑ったことを思い出します。

慎重はいいんですが、何事もスタートしなければ、ゴールはないのではないのでしょうか、歳を取ってから何か人のために成ることをと名のを立ち上げ活動しています。

思い立ったらすぐに実行しなければ気の済まない性格です。愛知県人にはなれないのでしようね、京都で活動しています。ゴールはまだ見えていませんが。
皆さんはどのタイプですか。

籠谷 弘



楽々亭 9月の予定
9月19日（火）
西京区役所洛西支所会議室
午後1時30分
～3時30分
7月に開催した場所です。

楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都
住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。